

学校法人専修大学 平成 26 年度予算について

標記の件について、「平成 26 年度予算書」を記載のとおり編成しましたので、その概要を説明いたします。

1 予算編成方針

- (1) 目 標 健全財政の確保
- (2) 基本方針
 - ① 教育・研究環境の質的向上を図る施策に重点を置いた予算編成
 - ② 経常経費における節減の推進(消費税率が 5%から 8%へ改定されることから、増税相当額の経常的経費を節減する。)
 - ③ 収支の均衡を図るために必要な査定の実施
 - ④ 予算制度を確立するという観点から、当初予算に計上された事業以外の項目については、原則的には当年度での対応を見送る(基本的には特別な事情を除き、補正予算の対象としない。)

2 資金収支予算 ー前年度予算額との比較ー

[概 要]

総額は、335 億 8,098 万円で前年度予算に比べ 3 億 9,786 万円の増(前年度予算比 1.20%増)の予算規模となっている。

収入の部では、当年度収入合計が前年度予算に比べ 26 億 1,154 万円の増(前年度予算比 10.63%増)で 271 億 7,595 万円。前年度繰越支払資金は、前年度予算に比べ 22 億 1,367 万円の減で 64 億 503 万円となっている。

支出の部では、当年度支出合計が前年度予算に比べ 3 億 2,948 万円の増(前年度予算比 1.23%増)で 271 億 757 万円。次年度繰越支払資金は、翌年度の収入となる前受金収入を含み、前年度予算に比べ 6,837 万円の増で 64 億 7,341 万円となっている。

[内 容]

(1) 収入の部

- ① 学生生徒等納付金収入は、前年度予算に比べ 1 億 5,961 万円の増(前年度予算比 0.81%増)で 197 億 5,166 万円。新入生の人数(学部・学科・大学院)を専大で 4,649 人、石巻専大で 384 人を見込み、全体で 5,033 人(前年度予算:5,120 人)を見込んでいる。また、全学年では、学費完納見込者数を専大で 18,798 人、石巻専大で 1,204 人を見込み、全体で 20,002 人(前年度予算:20,457 人)を見込んでいる。
- ② 手数料収入は、前年度予算に比べ 195 万円の増(前年度予算比 0.20%増)で 9 億 7,076 万円。このうち、入学検定料収入は、前年度予算に比べ 83 万円増の 9 億 3,639 万円を計上している。

- ③ 寄付金収入は、前年度予算に比べ 1,044 万円の増（前年度予算比 10.39%増）で、1 億 1,090 万円。特別寄付金及び一般寄付金の増を見込んでいる。
- ④ 補助金収入は、前年度予算に比べ 1 億 2,870 万円の減（前年度予算比 6.73%減）で 17 億 8,299 万円。このうち、国庫補助金収入は、私立大学等経常費補助金及び教育研究装置補助金等の減額を見込み、前年度予算に比べ 1 億 3,138 万円の減（前年度予算比 6.92%減）で 17 億 6,676 万円を計上している。
- ⑤ 資産運用収入は、前年度予算に比べ 1 億 3,478 万円の減（前年度予算比 37.10%減）で 2 億 2,855 万円。受取利息配当金収入の減等を見込んでいる。
- ⑥ 資産売却収入は、前年度予算に比べ 2 億 8,661 万円の減（前年度予算比 58.90%減）で 2 億円。有価証券の売却収入を見込んでいる。
- ⑦ 事業収入は、前年度予算に比べ 2,992 万円の減（前年度予算比 5.70%減）で 4 億 9,516 万円。受託事業収入の減等を見込んでいる。
- ⑧ 雑収入は、前年度予算に比べ 4 億 9,531 万円の減（前年度予算比 56.96%減）で 3 億 7,434 万円。退職金財団交付金収入とその他の雑収入で減を見込んでいる。
- ⑨ 借入金等収入は、前年度に比べ 14 億円の増。神田 5 号館及び生田新体育館建築に伴う長期借入金。
- ⑩ 前受金収入は、平成 27 年度入学者の入学手続時の納入学費（翌年度の学生生徒等納付金収入となる。）で、前年度予算に比べ 1,300 万円の減（前年度予算比 0.32%減）で 39 億 9,898 万円。
- ⑪ その他の収入は、前年度予算に比べ 14 億 7,479 万円の増（前年度予算比 203.35%増）で 22 億 4 万円。施設設備準備資産からの繰入収入を 15 億円計上したことによる。
- ⑫ 資金収入調整勘定（収入の振替控除科目）は、期末未収入金及び前期末前受金で前年度予算に比べ 6 億 5,308 万円 振替控除額の減（前年度予算比 13.09%減）で 43 億 3,745 万円。平成 26 年度退職教職員に係る退職金財団交付金収入等の期末未収入金及び平成 25 年度前受金収入をそれぞれ計上している。

(2) 支出の部

① 人件費支出は、前年度予算に比べ 5 億 2,938 万円の減（前年度予算比 3.59%減）で 142 億 1,193 万円。主たる要因は教職員の退職金支出で、前年度予算に比べ 6 億 3,528 万円の減で、5 億 631 万円となっている。

② 教育研究経費支出は、前年度予算に比べ 1 億 4,244 万円の減（前年度予算比 2.61%減）で 53 億 1,653 万円。主な科目の予算額（前年度予算との増減）及びその内容は以下のとおり。

- ・消耗品費支出：4 億 1,773 万円（968 万円の減）
ネットワーク情報学部パソコン実習等教材費、授業運営用ソフトウェア、各実習室・実験室消耗品、教員個人研究費消耗品、体育実技用具、各種課外講座消耗品、生田国際交流会館新築に伴う消耗品、石巻学生実験消耗品、石巻学生寮新築に伴う消耗品等
- ・図書資料費支出：2 億 1,772 万円（775 万円の増）
洋雑誌、和雑誌、洋雑誌電子ジャーナル、加除式資料等
- ・印刷製本費支出：2 億 2,822 万円（909 万円の減）
各種論集、ニュース専修、講義要項、学修ガイドブック、学部案内、各種講座案内、キャンパスライフ、入試問題、手続要項等
- ・光熱水費支出：6 億 6,638 万円（1,262 万円の増）
電気料、ガス料、重油・灯油代、上下水道料等
- ・旅費交通費支出：2 億 2,765 万円（1,342 万円の減）
ゼミナール合宿出張旅費、学会出張旅費、研究助成旅費、在外研究員研究旅費、路線バス運賃補助等
- ・奨学費支出：5 億 2,951 万円（1,411 万円の増）
新入生特別奨学生、学術奨学生、スカラシップ奨学生、被災者支援スカラシップ奨学生、大学院学術奨学生、法科大学院新入生学術奨学生、今村力三郎記念奨学生、神山奨学生、家計急変奨学生、災害見舞奨学生等
- ・補助費支出：2 億 4,725 万円（540 万円の減）
研究所補助、学会補助、ゼミナール論集制作費補助、学生団体等活動費、学生主催行事補助、体育会各部活動補助等
- ・修繕費支出：1 億 4,735 万円（1 億 757 万円の減）
神田 2 号館 3 階教室内装改修工事、生田 1 号館外壁補修工事、生田 2 号館解体工事、生田会館屋外埋設給水管修理、生田国際研修館耐震改修工事、生田西グラウンド改修工事、石巻 2 号館東側棟屋上防水シート改修工事、石巻図書館エレベータ改修工事等
- ・委託費支出：15 億 5,787 万円（3,975 万円の増）
受付・校舎管理業務、校舎清掃業務、建物・設備管理業務、交通誘導業務、各事務所管人材派遣、キャリアカウンセラー業務、教学システム開発、大学直通バス運行、セミナーハウス管理業務、図書整理・受入・閲覧業務、各種課外講座委託、生田 2 号館解体、生田国際研修館耐震改修等

- ・保守費支出：4億3,752万円（179万円の増）
教室視聴覚設備、教育・研究用コンピュータシステム他教学関連システム、中央監視設備他諸設備、空調機器、エレベータ等
 - ・賃借料支出：1億2,858万円（4,039万円の減）
教学システム、大学ホームページシステム外部サーバ利用料、教員用メールシステム、図書館各種情報検索サービス利用料、卒・入学式会場借用料、スカラシップ・全国入試、ターミナル入試試験会場借用料等
 - ・謝礼費：1億2,673万円（164万円の減）
授業科目・各種課外講座講師料、シンポジウム・公開講座講演料等
- ③ 管理経費支出は、前年度予算に比べ1億5,007万円の減（前年度予算比9.25%減）で14億7,275万円。主な科目の予算額（前年度予算との増減）及びその内容は、以下のとおり。
- ・消耗品費：1億1,782万円（310万円の減）
オープンキャンパス等学生募集関連消耗品、体育寮・セミナーハウス食材費、電気・空調・消防設備関係消耗品、石巻学生寮新築に伴う消耗品等
 - ・印刷製本費支出：1億4,655万円（817万円の増）
ニュース専修、大学案内、入学ガイド、各種入試要項、学部案内、電車内窓上広告ポスター等
 - ・委託費支出：3億8,995万円（7,762万円の減）
受付・校舎管理業務、校舎清掃業務、建物・設備管理業務、各事務所管人材派遣、運転業務、入学センターインフォメーション業務、入学ガイド・入試要項等発送業務、入試志願処理業務、体育寮給食業務、生田2号館解体等
 - ・広告費支出：3億5,561万円（2,439万円の減）
専大カップ、交通広告、駅看板、電車内中吊り・窓上広告、WEB広告、新聞・雑誌広告等
- ④ 借入金等利息支出は、前年度予算に比べ714万円の減（前年度予算比51.57%減）で671万円。日本私立学校振興・共済事業団、三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行からの借入金に係る利息。
- ⑤ 借入金等返済支出は、前年度予算と同額で7億4,332万円。償還計画に基づく返済額。
- ⑥ 施設関係支出は、前年度予算に比べ3億2,740万円の増（前年度予算比10.85%増）で33億4,440万円。主な内容は、後記の〔主な施設等整備事項〕で記載している。

- ⑦ 設備関係支出は、前年度予算に比べ 6 億 4,421 万円の増（前年度予算比 86.98%増）で 13 億 8,486 万円。このうち、教育研究用機器備品支出は、前年度予算に比べ 6 億 9,757 万円の増で 11 億 7,026 万円。神田 2 号館視聴覚設備及び 3 階教室固定机等設備品、神田 8 号館視聴覚設備、生田 4 号館視聴覚設備、生田国際交流会館設備品、生田国際研修館設備品、教育・研究用コンピュータシステム更新、教学システム更新、漢字プリンタシステム更新、脳波計、石巻学生実習・実験用機器、石巻学生寮設備品等。図書支出は、前年度予算に比べ 620 万円の減で 2 億 871 万円。
- ⑧ 資産運用支出は、前年度予算に比べ 4,392 万円の減（前年度予算比 7.60%減）で 5 億 3,408 万円。有価証券購入支出は、2 億円を計上。退職給与引当資産への繰入支出、法人基金準備資産への繰入支出等は計画による繰入額。
- ⑨ その他の支出は、前年度予算に比べ 1 億 658 万円の増（前年度予算比 7.76%増）で 14 億 8060 万円。このうち、前期末未払金支払支出は、前年度予算に比べ 1 億 968 万円の増で、13 億 7,776 万円。平成 25 年度末に退職する教職員の退職金、2・3 月分退職金財団掛金、リース契約取引の平成 26 年度リース料等。
- ⑩ 予備費は、前年度予算と同額で 1 億 5,000 万円。
- ⑪ 資金支出調整勘定（支出の振替控除科目）は、期末未払金及び前期末前払金で、前年度予算に比べ 1 億 2,424 万円 振替控除額の減（前年度予算比 7.48%減）で 15 億 3,763 万円。平成 26 年度末に退職する教職員の退職金等未払金、平成 25 年度末における洋雑誌・和雑誌の購入に係る前払金の回収見込額をそれぞれ計上。

[主な施設等整備事項]

専 修 大 学

- ①神田 2 号館教室視聴覚設備デジタル化対応工事 ②生田 4 号館視聴覚設備更新工事 ③生田国際交流会館新築工事 ④生田国際研修館改築工事 ⑤生田会館トイレ改修工事 ⑥生田新体育寮・新体育館（仮称）新築工事 ⑦新生田 2・3 号館（仮称）新築工事設計料 ⑧富士山中湖セミナーハウス受水槽交換工事等

石 巻 専 修 大 学

- ①学生寮新築工事 ②大学案内看板設置工事

3 消費収支予算

[概 要]

消費収入の部では、帰属収入合計（学校法人の負債としない収入）が前年度予算に比べ、8億4,189万円の減（前年度予算比3.41%減）で238億6,447万円。基本金組入額合計が前年度予算に比べ5億426万円の増（前年度予算比11.40%増）で49億2,776万円。消費収入の部合計は、前年度予算に比べ13億4,616万円の減（前年度予算比6.64%減）で189億3,671万円となっている。

消費支出の部では、消費支出の部合計が前年度予算に比べ7億9,218万円の減（前年度予算比3.24%減）で236億4,395万円となっている。

当年度消費収支差額は、前年度予算に比べ5億5,397万円の増（前年度予算比13.34%増）で47億724万円の消費支出超過額となっている。前年度繰越消費支出超過額（347億4,789万円）を加えた翌年度繰越消費支出超過額は、394億5,513万円となっている。

[内 容]

※前記の資金収支予算と共通の科目があるので、消費収支予算特有のものについて説明。

(1) 消費収入の部

① 寄付金は、前年度予算に比べ1,044万円の増（前年度予算比4.17%増）で2億6,100万円。特別寄付金及び一般寄付金の増を見込んでいる。

② 資産売却差額は、予算計上していない。

(2) 消費支出の部

① 人件費は、前年度予算に比べ2億8,656万円の減（前年度予算比1.96%減）で143億6,107万円。退職給与引当金繰入額6億5,546万円（3億9,245万円の減）を含んでいる。

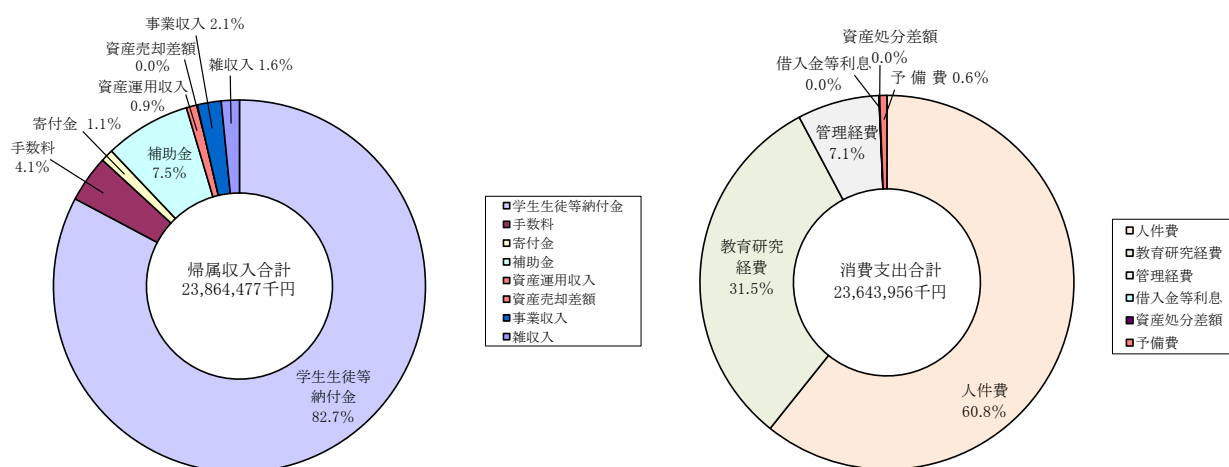
② 教育研究経費は、前年度予算に比べ2億8,344万円の減（前年度予算比3.67%減）で74億4,570万円。減価償却額21億2,917万円（1億4,099万円の減）を含んでいる。

③ 管理経費は、前年度予算に比べ1億4,660万円の減（前年度予算比8.05%減）で16億7,422万円。減価償却額2億146万円（347万円の増）を含んでいる。

④ 資産処分差額は、固定資産処分差額で前年度予算に比べ6,843万円の減（前年度予算比91.66%減）で623万円。機器備品、図書等の除却による処分差額を計上している。

(表1)

平成26年度 消費収支予算科目別構成



(表2)

主要財務比率

比率	算式 (×100)	平成22年度 (決算)	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (補正予算)	平成26年度 (予算)
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	74.24 % (52.9 %)	55.58 % (54.0 %)	58.51 % (52.8 %)	59.29 %	60.18 %
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	91.27 % (72.0 %)	72.29 % (74.4 %)	73.44 % (71.9 %)	74.76 %	72.71 %
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	31.16 % (30.9 %)	32.72 % (30.9 %)	34.24 % (31.2 %)	31.28 %	31.20 %
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	7.94 % (8.8 %)	7.17 % (8.7 %)	7.98 % (9.2 %)	7.37 %	7.02 %
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入} - \text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	△13.62 % (4.4 %)	3.52 % (3.4 %)	△1.62 % (4.8 %)	1.09 %	0.92 %

備考 ()内は日本私立学校振興・共済事業団調査による医歯系法人を除く大学法人平均値を示す。